

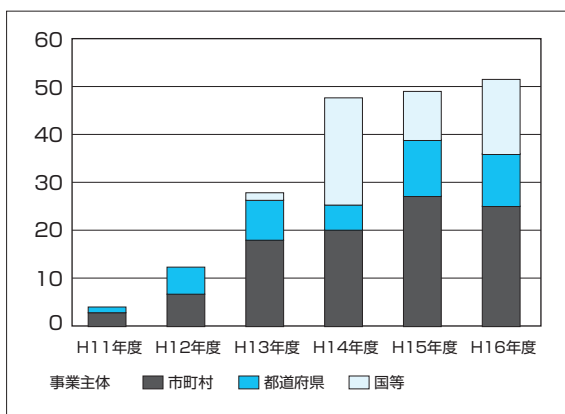


Q PFIによる施設整備

山谷 仁 議員
(新志会)

A 新規の際に検討をする

年度別 PFI 事業数 合計 188 事業
(平成 17 年 3 月末現在)



PFIとは

■「PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法です。

Q1 近年PFI方式による自治体での施設整備が行われています。PFIは英国で1980年代に始まり、近年まで、その手法が改善され用いられています。民間の知恵、知識等を取り入れた事業の全てを効率的に行うことができ可能な手法であります。

村においては年々厳しくなる財政の中、新規の施設整備が難しくなっていると考えるが、PFI方式を取り入れて支払いの平準化やリスク管理の明確化等、民間の力を取り入れたPFIを検討すべきでは。

A1 本村の財政は義務的経費が増加するなどの硬直化により、投資的経費を抑制せざるを得ない状況になっていきます。今後、住民生活に必要な社会資本の整備は重要な政策課題となっております。

PFIは民間の資金、経営能力及び技術能力を活用し、低廉で良質な公共サービスの提供や事業コストの縮減を図ることが可能な方法です。調査対象事業に位置づけられている火葬場についても整備手法のあり方を検討していきます。

資源ごみのリサイクルは

Q2

資源としてリサイクルできるごみについては地球環境の維持のためにさまざまな施策を行っております。最近、集積所に集められている資源ごみ、とりわけアルミ缶を、村指定回収業者より先に持ち去ることで問題が起きています。また資源ごみのストックヤード設置事業を全村的に取り組んではいかがか。

A2

ごみ集積所に出された空き缶や新聞など、「資源ごみ」の持ち去りについて相談や問い合わせが来ており、検討、改善が必要と考えています。

資源ごみを一時的に保管し集団資源回収時に活用する「資源ごみストックヤード」の設置は、ごみ処理経費削減や各団体への奨励金交付のメリット、資源ごみの持ち去り防止に有効な方法であると認識しています。用地確保や管理方法、設置を希望する数や財源確保など問題を整理し、地域の方々の意見を伺い方向を定めていきます。